

明日から“師走”

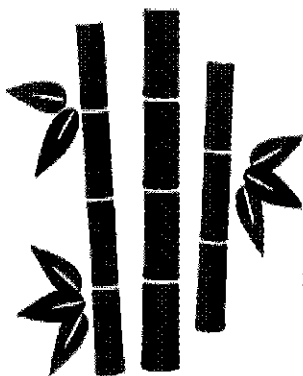
コロナ禍でのオリンピック開催という、歴史と記憶に残るような令和3年(2021年)も残り1ヶ月となりました。明日からいよいよ12月(師走)です。中学校生活において、記憶に残る行事と言えば、やはり修学旅行。3年生はコロナの影響で計画が二転三転。何とか8月に1泊2日で実施することができました。で、今度は2年生。いよいよ明日から2泊3日の日程で修学旅行に出かけます。2年生においても、コロナの影響で日程や旅程を変更せざるをえませんでした。それでも実施できて、ホッとしているところです。ただ、まだまだコロナ対策は必要で、宿泊施設や見学場所等もその対応に追われているようです。私達もその対応をきちっとしていきたいと思います。いずれにしても、生徒は当然、楽しみにしていることでしょう。私は修学旅行のたびに、次のようなあいさつをしています。



いよいよ待ちに待った修学旅行です。楽しく充実した修学旅行にするために、皆さんにお願いがあります。特別なことではありません。ルールをしっかり守り、人に迷惑をかけるような行為を絶対にしないでください。私を含め、先生方はこの修学旅行は特別に緊張する行事です。それはなぜかわかりますか。3日間、昼夜を問わずあなた方の安全と安心を守っていかなければなりません。そのため、いつも以上に厳しい指導も必要になってきます。しかし、皆さんがしっかりルールを守って集団行動をしてくれれば、大きな声を出す必要もありません。この3日間、みんなが笑顔で過ごせるよう、気配りや気遣いをお願いします。楽しく充実した修学旅行にしましょう！

12月を師走と言いますが、まずは明日からの3日間、先生方が走り回らなくてもいいことを願っています。

“へえ〜”



先日、TVを見ていると、ある俳優がインタビューに答えていて、そのコメントで「森と林の違いは・・・」を話していました。確かにどう違うのか私もよくわからず、思わず聞き入ってしまいました。その俳優曰く「森と言うのは自然に木々が集まったところで、林は人工的につくられたものなんです。」私は“へえ〜”と思いましたが、改めて調べてみました。確かに林業の世界では「林」＝「人の手が入ったもの」で「森」＝「自然に生えているもの」という区別をするそうです。ただ、一般的には「林」＝「ある同じ種類の木が集まっている所」と捉え、「森」＝「様々な種類の木が集まっている所」と区別しているようです。

同様に、「湖と沼と池の違いは・・・」も気になり調べて見ました。湖沼学では、「湖」＝「水深が深く、植物は湖岸に限られ、中央の深いところには沈水植物が見られないもの」、「沼」＝「湖より浅く、最深部まで沈水植物が繁栄するもの」、「池」＝「通常、湖や沼の小さなものをいい、特に人工的に作ったもの」と定義しているそうです。やはり言葉には一つひとつ意味があるのですね。奥深いものです。(これらは、よく外国人が日本人に尋ねる日本語の違いだそうです。)